

関係各位

(社)国際空手道連盟 極真会館 世界総極真 西岡道場
大会実行委員長 西岡成則

第2回 兵庫県空手道選手権大会 (第7回 極真 神戸大会)
(社)世界総極真 チャンピオンシップ大会選抜大会

開催について (選手募集のご案内)

寒冷の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は、当道場運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、武道空手道の普及発展及び、派閥、各流派を超えての親睦交流、青少年の健全育成を目的として、「第2回 兵庫県空手道選手権大会 第7回 極真 神戸大会」を開催する運びとなりました。

つきましては、別添のとおり出場申込書等を送付いたしましたので、日頃の精進並びに稽古の集大成の場として、本大会に多数参加下さいませご案内申し上げます。

敬具

記

- 1・日時： 平成28年6月11日 (土)
午前9時集合 (受付・計量)
午前9時30分 開会式
午前10時開始
- 2・会場： 兵庫県立文化体育館 本館多目的ホール
神戸市長田区蓮池町1-1 TEL (078) 631-1701
- 3・参加費： 小、中学生初心クラス・初級クラス 5,000円
チャンピオンシップ大会選抜・シニア・一般 7,000円
- 4・申込締切：平成28年4月30日(土) 必着で有効
(所属流会派など各団体一括で参加費と共に現金書留にて送付願います。)
- 5・送付先： 〒658-0027 神戸市東灘区青木5-4-15-303
極真会館 西岡道場 大会事務局 宛
TEL/FAX (078) 435-1457 携帯：090 (8985) 8108 (西岡)
- 6・注意事項

※2016年チャンピオンシップ大会の権利はベスト4 (初心・初級の部は除外)

※初心クラスは初試合・未勝利の選手が優先 (良識で判断をお願いします)

※初級の部は無級及び10段階の3級、5段階で2級まで (極真の緑帯まで)

但し、色帯は各種の大会で優勝、準優勝の経験の無い者とする。(道場内の交流戦は除く)

※ゼッケンは当日受付時にお渡しします。

※選手へのお弁当はありません。昼食は各自ご用意ください。

※申込後の参加料はいかなる理由があろうと返金は致しません。

※申込書不足の場合はコピーにて対応くださいますようお願いいたします。

※怪我をした場合の保険は各自で加入している保険でお願いします。

※申込選手の数により、クラスの統合、廃止があり得ますのでご了承下さい。

尚クラスの統廃合の連絡の都合上、連絡先の記入は確実にお願いします。

試合規約

(社) 国際空手道連盟 極真会館 世界総極真 西岡道場

- 国際空手道連盟ルールに準ずる
- 試合時間 (別紙参照)
- 防具 (別紙参照)
- 着衣 清潔な空手衣を着用すること。男子は道着の下の着衣は認めない。
ピアス等のアクセサリ着用は選手は出場を認めない。主催者が用意したゼッケンを背中中央に貼り付けること
- 勝者 一本勝ち、判定勝ち、相手の反則ないし失格による勝ちより判定される。
- 一本勝ち ①反則箇所を除く部分への突き、蹴り等で瞬間的に効かし3秒以上相手が立ち上がれない時、または戦意を喪失させた場合。
②技あり2つで合わせて一本となる。
- 技あり 反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどを決め、そのダメージにより一時的動きが止まった時、または大きく崩れた場合。足掛けまたは前蹴りや下段の合わせ技で相手をきれいに倒したときは技ありとする。
- 判定 ①一本勝ち、失格がない場合は、主審・副審のうち、過半数の審判の判定できめる。判定が決まらない場合は延長戦を行う。
②軽量級の申請体重を超えて出場した選手については、3kg未満は注意1
3kg以上5kg未満は減点1を与えた形で試合を開始する。5kg以上は失格とする。
- 反則 ①手技による首から上へ(首を含む)の攻撃。
②金的蹴り・頭突き。
③倒れている相手に当てる攻撃。
④背後からの攻撃。
⑤拳底押し・正拳押し、つかみ、投げ、手掛け・クリンチ。
⑥技の掛け逃げ。(蹴ってすぐに倒れることを繰り返す)
⑦何度も場外に逃げた場合。
⑧その他、審判が特に反則とみなした場合。
⑨反則は悪質なものを除き注意が与えられる。悪質な反則の場合、減点及び失格もありうる。
⑩注意2回で減点となる。
- 失格 ①減点を2回重ねたとき。
②試合中に、審判の指示に従わないとき。
③出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
④粗暴な振る舞いや悪質な試合態度とみなされたとき。
⑤応援態度が悪質で目にあまるときは選手の減点または失点もありうる。
⑥当日の計量により、軽量級の規定体重を超えているとき。
- その他 ①判定に対する抗議は一切認めません。
②出場申込書に記入内容誤りがあった場合(学年・年齢・級位等)は、失格となりうることもある。

※ 大会医師の許可のないテーピングの使用は認めない。

第2回 兵庫県大会(第7回 極真 神戸大会)

出場申込書

大会実行委員長 殿

私は、下記のとおり、本大会のルールに従い、正々堂々と戦うことを誓います。また、試合中、負傷や事故を生じた場合、主催者に対し、責任を一切問わない事を誓約致します。

平成 年 月 日

所属流派・会派名 _____

選手氏名		印	保護者氏名		印
フリガナ		男・女	生年月日	昭和・平成	年 月 日 歳
選手氏名			連絡先	()	-
選手住所	〒 -				
身長		cm	体重		kg
段・級位		段・級	修行年数		年 ヶ月
出場希望クラスを○で囲む(学年・性別・体重別クラス等の記入間違いは失格になります)					
1・幼年部・年長(男女混合)		32~37・ 小学1~6年生男子初心の部		小学	年生
2~5 小学1~4年男子の部		小学	38~43・ 小学1~6年生女子初心の部		小学
6・7 小学5年男子・軽量(36kg未満)・重量(36kg以上)		44~49・ 小学1~6年生男子初級の部		小学	年生
8・9 小学6年男子・軽量(42kg未満)・重量(42kg以上)		50~55・ 小学1~6年生女子初級の部		小学	年生
10~15 小学1~6年女子の部		小学	56・57 中学男子・初級・軽量(50kg未満)・初級・重量(50kg以上)		
16・17 中学1年男子・軽量(50kg未満)・重量(50kg以上)		58・59 中学女子・初級・軽量(45kg未満)・初級・重量(45kg以上)			
18・19 中学1生女子・軽量(45kg未満)・重量(45kg以上)		60~61 シニア(35歳以上)男子・初級・軽量(70kg未満)・初級・重量(70kg以上)			
20・21 中学2・3年男子・軽量(55kg未満)・重量(55kg以上)		62~63 シニア(35歳以上)女子・初級・軽量(70kg未満)・初級・重量(70kg以上)			
22・23 中学2・3年女子・軽量(50kg未満)・重量(50kg以上)		64・65 一般女子・初級・軽量級(55kg未満)・初級・重量(55kg以上)			
24・25 高校1年男子・軽量(60kg未満)・重量(60kg以上)		66・67 一般男子・初級・軽量(70kg未満)・初級・重量(70kg以上)			
26・27 高校1年女子・軽量(50kg未満)・重量(50kg以上)		68~69 シニア(35歳以上)女子・上級・軽量(70kg未満)・上級・重量(70kg以上)			
28・29 高校2・3年男子・軽量(65kg未満)・重量(65kg以上)		70・71 一般女子・上級・軽量級(55kg未満)・上級・重量(55kg以上)			
30・31 高校2・3年女子・軽量(55kg未満)・重量(55kg以上)		72~73 シニア(35歳以上)男子・上級・軽量(70kg未満)・上級・重量(70kg以上)			
		74・75 一般男子・上級・軽量級(70kg未満)・上級・重量(70kg以上)			
(確認の為ご記入下さい)		(確認の為ご記入下さい)			
出場クラス番号 _____ 番 クラス名 _____		出場クラス番号 _____ 番 クラス名 _____			
過去最新の大会出場・入賞歴を一つ必ず記入してください {2016年チャンピオンシップ大会権利}					
持っている 持っていない (○を付けてください)					
大会(成績) _____					
*1~29のチャンピオンシップ大会の権利はベスト4です。					

*連絡先:FAX _____ E-mail: _____

(選手の確認の為、必要になります。必ずご記入ください)

<別紙>

■ 試合時間

	本 戦	延 長 戦	準決勝戦から再延長あり
幼年の部	1分	30秒 マストシステム	30秒 マストシステム
小・中学生の部	1分30秒	1分 マストシステム	1分 マストシステム
高校生の部 シニアの部	2分	1分 マストシステム	1分 マストシステム
一般女子の部 一般男子の部	2分	2分 マストシステム	2分 マストシステム

■ サポーター

	ヘッドギア	脛 サポーター	拳 サポーター	金的カップ	膝 サポーター	胸ガード (女子のみ)
幼年の部 小学3年生以下	○	○	○	○(女子△)	○	△
小、中学生の部 高校生の部	○	○	○	○(女子△)	○	△
一般男子・女子・初級 シニアの部	×	○	○	○(女子△)	○	△
一般女子・上級	×	×	×	○(女子△)	×	△
一般男子・上級	×	×	×	○	×	×

【○=着用義務、 ×=着用不可、 △=着用自由（希望者のみ）】

- ※ ヘッドギアは、主催者側が用意します。それ以外は、選手各自が用意すること。
- ※ 拳サポーターは布製、皮製のどちらでも良い。(但し、極端に薄い生地物は認めない)
- ※ 脛、膝サポーターは布製の物とする。
- ※ 胸ガードは、各自用意すること。(女子のみ)。(胸のみの物・腹までの物は認めない)
- ※ 小学3年生までのクラスで、脛サポーターが膝を完全に覆っている場合は、膝サポーターを着用しなくても良い。
- ※ 初心のクラスは初試合、未勝利者を優先（良識で判断してください）
- ※ 初級の部は無級及び10段階の3級、5段階で2級まで（極真の緑帯まで）
但し、色帯は各種の大会で優勝、準優勝の経験の無い者とする。(道場内の交流戦は除く)